

第1回 ブラッシング指導

6月15日、長崎歯科衛生士専門学校38期生の学生さんに来校していただき、第1回ブラッシング指導を実施しました。この3年間、感染症拡大予防のため中止していた個別の染め出しによるブラッシング指導も、今年度から再開することができました。講話のあとの個別指導では、児童生徒一人一人に、担当の学生さんがついて歯磨き指導をしてくださいました。



～個別指導の様子～

個別指導時の感染症対策

- ・机の間を最大限(1m以上)あけ、換気と空気清浄機の作動を行う
- ・学生は、マスク、手袋、ゴーグル着用で指導を行う
- ・使用後のガーグルベースンは、洗浄・消毒を徹底する



「歯医者さんでしたことある!」と染め出しを積極的に受け入れる様子や、口の中を見せることに抵抗を示す様子など、個別指導では児童生徒それぞれの反応が見られました。口の中を見せることを嫌がる場合、最初は、歯磨き手順の絵カードを学生さんと一緒に見たり、自分が磨いているところを学生さんに見てもらったりすることからスタートします。後日配付するブラッシングファイルに、どのような様子で、どんな指導を行ったかを記載していますので、ご確認ください。嫌がっている児童生徒も、毎年の歯科検診や、毎学期ごとのブラッシング指導の経験を重ねることで、少しずつ口の中を見せることに慣れていってくれると思います。学生さんにとっては、こどもたちのペースに合わせて指導することを学ぶ貴重な機会となっています。

※個別のブラッシングファイルを、6月22日に配付しています。内容をご確認いただきましたら、感想や疑問点などを保護者記載欄に記入されて提出をお願いします。次回に向けて配慮してほしい点なども遠慮なく記載してください。